

# 化学名索引

化学名による索引である。本体の「使用法」で断っているように、本書では、見たいスペクトルを「サンプル収載リスト」で探すやり方を基本としている。

50音による化学名索引は網羅的ではなく補助的な位置づけであり、「収載リスト」で探しにくい次のようなポリマーに限定している。この前提で利用願いたい。

①余りポピュラーではないので、名称からは、リスト中のどのグループに属するか判断しにくいポリマー

②本書で、世間一般とは異なる分類をしたもの

たとえばアルキド樹脂は、世間では熱硬化性樹脂に分類していることが多いが、本書では「半芳香族系ポリエステル：コーティング用」に入れた。このようなものも対象としている。

## <表の見方>

総称的な名称には、\*を付けてある。ただし、総称か個別名称かの区別には、曖昧さがある。

化学名	Code	化学名	Code
アイオノマー*	A1-235x	ジエチレングリコールビスアリル カーボネート樹脂	R1-111
アラミド*	K4-xxx	水素添加スチレンブタジエンゴム	V1-113
アリル樹脂*	R1-xxx		V2-201
アルキド樹脂*	I8-223	水素添加ニトリルゴム	S6-301
イソプレン/イソプレン	T2-201		T5-105
ウレタンアクリレート樹脂*	E4-3xx	ゼイン	Z1-131
液晶ポリエステル*	I9-20x	セラック	Z2-101
液状フッ素ゴム*	T6-141	セルロイド	G1-430
エチレン/一酸化炭素共重合体	A4-241	多硫化ゴム*	U2-xxx
	J2-101	ツェイン	Z1-131
エチレン・プロピレン/一酸化炭素	J2-103	テトラグリシジルジアミノジフェニル メタン	P3-103A
エチレン/ $\alpha$ オレフィン共重合体	A1-111B 他 T1-1xxx V2-102~105	トランス 1,4-ポリイソプレン	V4-135
エチレン/テトラシクロドデセン	A4-611x	トリアジン樹脂*	O7-101
エチレン/ノルボルネン	A4-211x	尿素樹脂	O4-101
エポキシアクリレート樹脂*	E4-205	ノルボルネンゴム	S4-101
エポナイト	Z1-105	パーフルオロエラストマー*	T6-131
塩素化ポリエチレン	T3-111	ビスマレイミドトリアジン樹脂*	L1-521
塩素化ポリプロピレン	A2-301	ビニルエステル樹脂*	Q2-xxx
カシュー	Z1-121	N-フェニルマレイミド樹脂	L5-1xx
カゼインプラスチック	Z2-111	フェノキシ樹脂*	H2-xxx
クロロスルホン化ポリエチレン	T3-121	フタル酸ジグリシジルエステル樹脂	P2-101A
グリシジルエステル樹脂*	P2-10x	プテン-1/ $\alpha$ オレフィン共重合体	V4-102
グルー	Z2-113	フラン樹脂*	O3-101
シアネート樹脂*	O7-101	プルラン	G2-102
シアノアクリレート樹脂*	E4-102	フルオレン系ポリエステル	I7-201
ジアリルフタレート樹脂	R1-101	プロピレン/ $\alpha$ オレフィン共重合体	A2-201 他
ジアリルイソフタレート樹脂	R1-102		T1-1xxx V3-xxx
シェラック	Z2-101	ヘキサヒドロフタル酸ジグリシジル	P2-105A
シンジオタクチック 1,2-ポリブタジエン	V4-131		

# 商品名索引

商品名による索引であり、種々の商品名について該当する Code を提示したものである。

本書では、構造で分類した「収載リスト」を用いて目的のポリマーのスペクトルを探す方式であり、従って、構造に関する知見が必要であるが、一方、世間では、構造は前に出さず、専ら商品名を用いているポリマーも多い（構造が複雑なため、化学名は使用しにくい場合等）。

商品名だけ知っていて構造に関する知見がないポリマーのスペクトルを探す場合、本索引が役立つ。

## <利用上の注意>

### (1) 対象

あらゆる商品名を網羅してはいない。次のようなものが中心である。

- ・商品名が化学名の代わりに使われているポリマー
- ・複数のメーカーがある場合、良く知られた商品名を優先。知名度が低いものはカバーしていない。
- ・実際に測定に使用したかどうかは無関係。使用しなくても上記条件に合えば取り上げた。

### (2) 表記法

国産品は日本語表記、外国製は英語表記を原則としたが、外国品の国産化もあり、厳密ではない。

また、複雑な名称の場合、参考のため、両方を記載するようにした例もある。

英語の場合、大文字表記か小文字併用かはメーカーのスタイルに従ったが、これも曖昧さがある。

商品名	素性	Code	商品名	素性	Code
BT レジン	マレイミド/シアネート	L1-521	ジェネスタ	ポリアミド 9T	K3-107
G-ポリマー	ポリビニルアルコール系	D1-203	シブスター	スチレン/イソブチレン	V1-118
HSクリスタ	ポリオクタデセン	A3-305	ジュラコン	ポリオキシメチレン	H1-201B
MX ナイロン	ナイロン MXD-6	K3-132	ジュラファイブ	ポリフェニレンスルフィド	M2-101A
KF-ポリマー	ポリフッ化ビニリデン	C3-215b	スミカスーパー	ポリヒドロキシ安息香酸	I9-101
U ポリマー	ポリアリレート	I9-211	E101		
アオニレックス	バイオポリエステル	I3-205	同 E2000	液晶ポリエステル I	I9-201
アクリフト	エチレン/MMA	A1-220	ゼオノア 1060R	環状ポリオレフィン	A4-321
アートン D4520	環状ポリオレフィン	A4-712	ゼオノア ZF14	環状ポリオレフィン	A4-333
アートン F-4520	環状ポリオレフィン	A4-701	ゼオノア ZF16	環状ポリオレフィン	A4-533
アフラス 150E	フッ素ゴム	T6-111	セビアン	スチレン/メタクリレート	B1-230
アフラス 200	フッ素ゴム	T6-113	セプトン 1000	水添スチレン/ジエン系	V1-111A
アフロン COP	エチレン/テトラフルオロエチレン系	C3-205	セプトン 2000	水添スチレン/ジエン系	V1-111B
			セプトン 4000	水添スチレン/ジエン系	V1-112
アペル	環状ポリオレフィン	A4-611x	ソルバイン C	塩化ビニル/酢酸ビニル	C1-205x
アミラン	ナイロン	K1-117 他	ソルバイン MS	塩化ビニル三元系	C1-210
アルテスタ 45	環導入ポリエステル	I5-215	ダイナロン 2324P	水添スチレンブタジエン	V1-113
ウルトラセン	エチレン/酢酸ビニル	A1-201x	ダイナロン 4600P	水添スチレンブタジエン	V1-117
エパール	エチレン/ビニルアルコール	D1-201	ダイナロン 6200P	水添ポリブタジエン系	V2-107
エピックロマー	エピクロロヒドリンゴム	U1-xxx	タフテック P2000	スチレン/ブタジエン	V1-105
エルモーデュ	低結晶性ポリプロピレン	A2-103	タフマー A	エチレン/ブテン-1	V2-102
オベロン	ポリウレタン弾性繊維	X1-126	タフマー BL	ブテン-1/プロピレン	V4-102
オーラム	熱可塑性ポリイミド	L1-105	タフマー PN	PP 系エラストマー	V3-105
サーモラン	ポリプロピレン系 TPE	V3-101A	タフマー XM	PP 系ブラストマー	V3-108
ザイダー	液晶ポリエステル	I9-201a	テクノーラ	パラ系共重合アラミド	K4-202
サイトップ	透明フッ素樹脂	C4-102	テフロン	ポリテトラフルオロエチレン	C3-101
サイフェル	液状フッ素ゴム	T6-141	デュラビオ	バイオポリカーボネート	I2-212
ザイロン (Zylon)	ポリベンズオキサゾール	L3-101	ネオフロン FEP	共重合フッ素樹脂	C3-201
ザイロン (Zyron)	変性ポリフェニレン	I3-401a	ネオフロン PFA	共重合フッ素樹脂	C3-202
	エーテル系	I3-43A	ノーメックス	メタ系アラミド	K4-111
ザレック	シンジオポリスチレン	B1-102A	ノティオ SN	シンジオ PP 系エラストマー	V3-106

## 略号の索引

ポリマーの場合、化学名の代わりに略号が用いられることも多い。本索引は、各略号の意味と対応するポリマーの Code を示したもので、前章の「商品名索引」と同じような利用が可能である。

### <注意事項>

①本索引で挙げた略号は、必ずしも ISO や JIS 方式ばかりではないが、世間で使用されているものである。

他方、本書の本体で採用した略号は、多くのポリマーを識別するために制作者が考案したプライベートな略号が多く、本索引での略号とは完全一致しないものが多い。

②総称的な略号には \* を付けた。

略号	名称・意味	Code	略号	名称・意味	Code
AAS	ABS 樹脂のゴム成分変種	B1-222	EPDM	エチレンプロピレンジエンゴム	T1-111x
ABS	ABS 樹脂:アクリロニトリル/ ブタジエン/スチレン三元系	B1-207x	EPM	エチレンプロピレンゴム	T1-101
ACM	アクリルゴム*	T4-101	EPR	エチレンプロピレンゴム	T1-101
ACS	ABS 樹脂のゴム成分変種	B1-223	ETFE	エチレンテトラフルオロエチレン	C3-205
AES	ABS 樹脂のゴム成分変種	B1-221	EVA	エチレン/酢酸ビニル	A1-201
ALK	アルキド樹脂	I8-223	EVE	ポリエチルビニルエーテル	-
APC	脂肪族ポリカーボネート*	I2-1xx	EVOH	エチレン/ビニルアルコール	D1-201x
AS	スチレン/アクリロニトリル	B1-205	EVM	エチレン酢酸ビニルゴム	T5-111
ASA	AAS と同一	B1-222	EX	エポキシ樹脂*	P-xxx
BR	ブタジエンラバー	S2-101x	FEP	共重合フッ素樹脂の一種	C3-201
BT	BT レジン	L1-521	FKM	一般的フッ素ゴム*	T6-xxx
CA	酢酸セルロース	G1-302	FFKM	全フッ素エラストマー	T6-131
CAB	酢酸酪酸セルロース	G1-308	GECO	三元系ポリエーテルゴム	U1-203
CAP	酢酸プロピオン酸セルロース	G1-306	GPPS	汎用ポリスチレン	B1-101
CBT	環状 PBT	I5-104	HDPE	高密度ポリエチレン	A1-101x
CEBC	水添ポリブタジエンブロック系	V2-107	HIPS	耐衝撃性ポリスチレン	B1-201x
CF	クレゾール樹脂	O1-103	HNBR	水素添加 NBR	S6-301
CM	塩素化ポリエチレンゴム	T3-111	HPC	ヒドロキシプロピルセルロース	G1-326
CMC	カルボキシメチルセルロース	G1-329	HPLDPE	高圧法低密度ポリエチレン	A1-104
CN	硝酸セルロース	G1-330	IIR	ブチルゴム	T2-201
CO	単独系ポリエーテルゴム	U1-101	IONO	アイオノマー	A1-235
COC	環状オレフィンコポリマー*	A4-211 他	IR	イソブレンゴム	S1-101b
COP	環状オレフィンポリマー*	A4-211 他	LCP	液晶ポリエステル*	I9-20x
CP	プロピオン酸セルロース	G1-304	LDPE	低密度ポリエチレン	A1-104
CPE	塩素化ポリエチレン	T3-111	LLDPE	直鎖状低密度ポリエチレン	A1-111*
CPVC	塩素化ポリ塩化ビニル	C1-301	MAH	無水マレイン酸(原料)	A1-208 他
CR	クロロプレンゴム	S5-101a	MBS	ゴム変性スチレン系	B1-231
CS	カゼインプラスチック	Z2-111	MDI	イソシアネートの一種	X1-101
CSM	クロロスルホン化ポリエチレン	T3-121	MDPE	中密度ポリエチレン	A1-103x
CTA	三酢酸セルロース	G1-303	MF	メラミン樹脂	O5-101
DAP	ジアリルフタレート樹脂	R1-101	MQ	シリコーンゴム*	Y5-201
EAA	エチレン/アクリル酸	A1-230	MS	メタクリル酸メチル/スチレン	B1-230
EC	エチルセルロース	G1-321	MVE	ポリメチルビニルエーテル	D2-201
ECO	二元系ポリエーテルゴム	U1-201	NBR	ニトリルゴム	S6-101
ECO	エチレン/一酸化炭素	J2-101	NDI	イソシアネートの一種	X2-301
ECTFE	共重合フッ素樹脂の一種	C3-211	NOR	ノルボルネンラバー	S4-101
EEA	エチレン/アクリル酸エチル	A1-210	NR	天然ゴム	S1-101
EMA	エチレン/アクリル酸メチル	A1-205	Ny	ナイロン*	Kx-xxx
EMAA	エチレン/メタクリル酸	A1-232	OT	多硫化ゴム*	U2-201
EP	エポキシ樹脂*	P グループ	PA	ポリアミド*	Kx-xxx
			PAE	ポリアミドエラストマー*	W3-xxx

## 部分構造索引

こういう「部分構造」を持ったポリマーにどんなものがあるか という探し方が出来るガイドである。

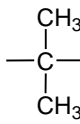
たとえば、「エーテル結合」の表を見ると、リストの「H ポリエーテル」にあるポリマー以外にも、非常に多くのポリマーがエーテル結合を持っていることが判る。

色々なポリマーが所有する部分構造が中心であるが、一部のポリマーしか所有しない特異な構造も取上げた。スペクトルの解釈に活用できるだけでなく、眺めるだけでポリマーについての知識が増えるはずである。




<表の見方>

対象となるポリマーが多い場合、多くの Code を列挙する代わりに関係する「モノマー」1 個の名称の記載で済ませている場合がある。該当するポリマーは「原料モノマー索引」を参照されたい。







### ■メチレン連鎖(骨格)・分岐アルキル基

長鎖メチレン	<i>gem</i> -メチル・イソプロピリデン系			その他分岐骨格		分岐アルキル基	
$-(CH_2CH_2)_n-$		I1-103	O7-10x	プロピレン		A3-201	E2-102G
エチレン V1-114		I6-225	P1-131x	ブテン V1-111B		E1-103	E2-102I
T5-105 V1-117		I9-221	T2-xxx	A3-201	V1-114	E1-104B	E3-105
V1-112 V2-107		I9-225	V1-118	A3-305	V2-107	E1-104C	E3-115
V1-113 V2-201		ビスフェノール A		K3-108	V2-201	E1-108	
	E4-324	G1-430	L1-3xx	K3-211	X2-141	E2-102F	

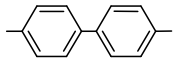
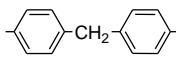
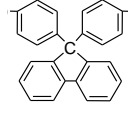
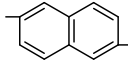
### ■不飽和結合

主鎖		側鎖		環内		環外	
$-C=C-$		$-CH-CH_2-$ 				$-CH-CH-$ 	
S グループ							
B1-201A~B1-211	A4-101		V1-101~V1-109	A4-301	Z1-150		
B1-231	A4-301		V4-131	T1-111B	Z2-101		
V1-101~V1-105	F1-205		U1-203				T1-111Aa
V4-112 V4-135	T2-201						

### ■シクロアルカン:単環・複合環・架橋環

ブタン単環		ペンタン単環		ヘキサン単環				
					I1-105	I5-211	I9-221	P2-105
I6-226		A4-101	A4-712	E2-102M	E4-324	I2-2xx	I6-xxx	K2-106
						I4-117	I7-201	K3-301
						I4-176	I8-212	W2-402
								P1-131x
								X0-106
ペンタン複合環			ペンテン複合環等			架橋環		
						$-CH-CH-$ 		
A4-321	A4-333	A4-533	A4-301	T1-111B	Z2-101	A4-211	A4-533	A4-7xx
						A4-333	A4-611	Q1-122B
								E2-102N
								Q1-316
								G1-430
								T1-111x

### ■ベンゼン環:ビフェニル・連結多環・縮合

ビフェニル環			ジフェニルメタン構造			フルオレン環		ナフタレン環	
									
		L2-101x			O2-xxx				
I9-201x	L1-111	M1-105	L1-115	L1-501	ビス F 系			I7-xxx	W2-204
L1-105	L1-113	P1-111x	L1-203	O1-xxx	P3-103A			I9-202	X2-301
					X の MDI	I7-201	P1-115		

## 元素索引

「このモノマーを使用したポリマーにどんなものがあるか」という探し方をしたい場合のガイドである。たとえば、元素分析で特異な元素が検出されたので、これを踏まえて定性しようとした時に利用できる。ただし、CとH、Oは対象から除外してある。対象が多過ぎて参考にならない。

元素	該当ポリマーのタイプ	左の Code
N	アクリロニトリル使用ポリマー ポリアミド;ポリアミド系エラストマー ポリイミド;マレイミド N-フェニルマレイミド原料 ポリウレタン・ポリイソシアヌレート・ポリウレア ポリベンズイミダゾール;ポリベンズビスオキサゾール ユリア樹脂;メラミン樹脂 ベンゾグアナミン樹脂 シアネート樹脂 アミン硬化エポキシ樹脂 オキサゾリン系	原料モノマー索引参照 Kグループ;W3-xxx L1-xxx;L5-xxx 原料モノマー索引参照 Xグループ L2-xxx;L3-101 O4-101;O5-xxx; O6-xxx O7-xxx Pグループ B1-240
S	サルホン サルフィド スルホン酸;スルホン化物 クロロスルホン化物	M1-xxx;L1-315 M2-xxx U2-xxx C5-111 I8-206 I8-212;L2-301 T3-121
F	フッ素樹脂 フッ素ゴム フッ素変性アクリル樹脂 フルオロシリコーン ポリパーフルオロパラキシリレン	C3-xxx C4-xxx C5-111 T6-xxx W1-301 E2-225 Y2-xxx Y6-201 B3-107
Cl	塩化ビニル使用ポリマー;ポリ塩化ビニリデン クロロフッ素樹脂 エピクロロヒドリンゴム 塩素化物 クロロスルホン化物 ポリクロロパラキシリレン クロロジアミンを用いたポリウレタン・ポリウレア	原料モノマー索引参照;C2-xxx C3-1110 U1-xxx A2-301 T3-111 B1-223 T3-121 B3-105 X7-114
Br	臭素化物	T2-302
Si	シリコーン系 ポリジメチルシロキサンとのブロック共重合体 水架橋ポリエチレン;フッ素ゴムの末端変性	Yグループ I1-202 L1-321 P6-205a A1-237;T6-141 U3-101
Na	カルボン酸塩(アイオノマー) カルボン酸塩(カルボキシメチルセルロース) スルホン酸塩	A1-235A A1-235C G1-329 I8-206 I8-212
Mg	カルボン酸塩(アイオノマー)	A1-205E
Ca	カルボン酸塩(アイオノマー)	A1-235F
Zn	カルボン酸塩(アイオノマー)	A1-235B A1-235D

# 原料モノマー索引

「このモノマーを使用したポリマーにどんなものがあるか」という探し方をしたい場合のガイドである。

たとえば、ビスフェノール A を原料とするポリマーの場合、ポリカーボネートやエポキシ樹脂が直ぐに浮かんでくるが、これら以外にも種々のポリマーに使われている。本索引ではこれらを網羅している。

この観点では網羅的であるが、ただし、取り上げているモノマーは、種々のポリマーに使用されている汎用性があるモノマー中心で、特定のポリマーにしか使用されていないモノマーは対象外である。

「部分構造索引」と同じであるが、スペクトルの解釈への活用だけでなく、眺めることでポリマーについての知識が増える効果も期待している。

## <構成>

広い意味で重合反応に用いられる原料を 3 タイプに分類して、それぞれから得られるポリマーを示した。

### ①低分子量モノマー（表 1）

通常モノマー。硬化性樹脂のプレポリマー用モノマーも含める。

### ②ポリマー型反応原料：広義のマクロモノマー（表 2）

マルチセグメント（マルチブロック）形成のためのポリマーや、グラフト鎖形成のためのマクロモノマーが対象である。これを作るための低分子量モノマーについては、表 1 の中では★を付してある。

### ③リアクターブレンド用ポリマー（表 3）

②に類似するが、反応容器の中で他のモノマーと接触して「アロイ」を製造するのに使用されるポリマーを対象としている。このための低分子量モノマーについては、表 1 の中では◆を付してある。

表 1 低分子量モノマー

モノマーの種類	左から作られるポリマーの種類	左の Code		
アクリロニトリル	ポリアクリロニトリル:ホモおよび共重合体 (上を配合したポリウレタンフォーム)	F1-xxx		E1-213
	塩化ビニリデンとの共重合体	X1-117	X1-228	
	スチレンとの共重合体	C2-207		
	N-フェニルマレイミドとの共重合体	B1-205~223		
	ニトリルゴム、水素化ニトリルゴム (上を配合したポリ塩化ビニル系エラストマー)	L5-151		
		S6-xxx	T3-101	
アクリル酸 メタクリル酸	エチレンとの共重合体	S6-401	W1-101	
	エチレンとの共重合体	A1-230~235		
	塩化ビニルとの共重合体	C1-208	C1-212	
	アクリル酸エステルとの共重合体	E1-211A	E1-211B	
アクリル酸エステル メタクリル酸エステル	エポキシアクリレート、ウレタンアクリレート等 メタクリロニトリルとの共重合体	E4-xxx		
		L5-201		
	アクリル酸エステル同士の重合体	E1-xxx~E2-xxx に多数		
		T4-101	W1-201	
	エチレンとの共重合体	A1-205~222		T5-101
	スチレンとの共重合体	B1-210	B1-211	B1-222
		B1-230~232		B1-235a
	N-フェニルマレイミド/スチレンとの共重合体	E2-223	L5-152	
	塩化ビニル、塩化ビニリデンとの共重合体	C1-207	C1-222	C2-205
	アクリロニトリルとの共重合体	F1-201	F1-205	
シリコーンとの共重合体	Y8-102			
アジピン酸	ポリエステル	I4-12x	I5-206	I5-303
	★ポリウレタンのソフトセグメント用ポリエステル	X0-015	X2-xxx	
	ポリアミド	K1-111	K1-113	K1-212
		K3-132	K3-222A	K3-226
一酸化炭素	エチレン、プロピレンとの共重合体	A4-241	J2-101	J2-103

## サンプル情報・測定条件

### L ポリイミド・ポリイミダゾール・ポリアクリルイミド

Code	商品名・グレード(メーカー)	構造の根拠	定量値の根拠	前処理法
L1-101	カプトン(東レデュポン)	公表		粉碎-圧着
L1-105	オーラム(三井化学)	文献 1		粉碎-圧着
L1-111	UPILEX-S(宇部興産)	公表		粉碎-圧着
L1-113	UPILEX-R(宇部興産)	公表		粉碎-圧着
L1-115	P84 NT1 HCM(ダイセル・エポニック)	概要+文献 2	文献 2	粉碎-圧着
L1-202	Torlon T4203(Solvay)	概要+文献 3	文献 3	粉碎-圧着
L1-203	ケルメル繊維(Kermel/船山)	公表		粉碎-圧着
L1-301	ULTEM U1000(SABIC Innovation Plastics)	公表		粉碎-圧着
L1-311	ULTEM URS5001(SABIC Innovation Plastics)	推定。文献 4		ATR
L1-315	Xtem XH1015(SABIC Innovation Plastics)	公表		溶液 F/CLF-圧延
L1-321	Siltem STM1500(SABIC Innovation Plastics)	公表	文献 5	溶液 F/CLF-圧延
L1-501a	Kelimide(Rhone Poulenc)	公表		粉碎-圧着
L1-501b	実験室硬化物			粉碎-圧着
L1-521	実験室硬化物			粉碎-圧着
L2-101	PBI Fine Powder(佐藤ライト工業)	公表		粉末-圧着
L2-301	グレード情報なし		一般論	粉碎-圧着
L2-401	SPR7900(佐藤ライト工業)	公表	元素分析	粉碎-圧着
L3-101	ザイロン糸(東洋紡) [註 1]	公表		粉碎-圧着
L5-111	ポリイミレックス PSX 0371(日本触媒)	公表	元素分析	熱プレス-圧延
L5-151	ポリイミレックス PAS 140(日本触媒)	公表	元素分析	熱プレス-圧延
L5-152	ポリイミレックス PML 203(日本触媒)	公表	元素分析	熱プレス-圧延
L5-201	Rohas(ダイセル・エポニック)	概要+文献 6		ATR
L5-211	Pleximid TT50(ダイセル・エポニック)	概要+文献 7	T <sub>g</sub> から推定	溶液 F/CLF-圧延

註 1 「ザイロン」には 2 種類の商品がある。

Zylon (東洋紡) : L3-101

Zyron (旭化成) : ポリフェニレンエーテルのアロイ : H3-101、M2-301 等

文献 1 D. Kemmish: *Practical Guide to High Performance Engineering Plastics*, Smithers (2011), pp41.

文献 2 H. B. Xiang: *Macromolecular Research*, **19**, pp645 (2011).

文献 3 G. P. Robertson: *Polymer*, **45**, pp1111 (2004).

文献 4 R. Gallucci in *Engineering Plastics Handbook*, McGraw Hill (2006), pp164.

文献 5 M. Gilbert (Ed.): *Brydson's Plastics Materials-8<sup>th</sup> ed*, Elsevier (2017), pp574.

文献 6 *ibid.*, pp455.

文献 7 *ibid.*, pp453.

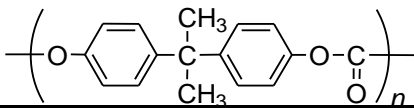
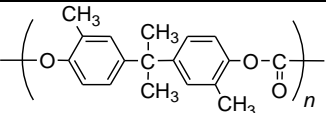
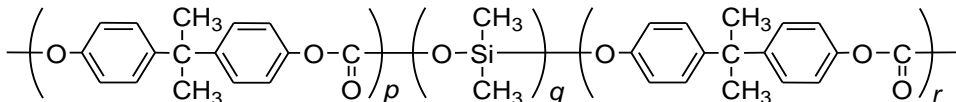
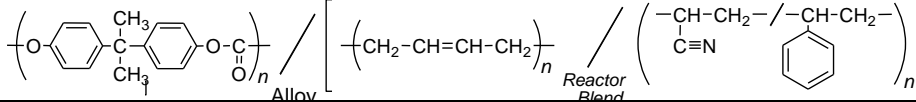
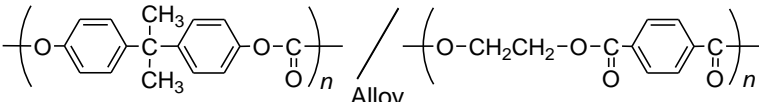
## 付録 CD: 構造式のイメージ見本

本書に掲載した構造式は、判りやすさ・正確さ・見映えをバランスさせたつむりの自信作ですが、これを Word ファイル（Windows 版）に収載して提供するものです。

ユーザーが作成するレポートへのコピー等の活用を想定しています。

そのまま拡大や縮小の加工が可能です。加えて Chem Draw を用いれば編集が可能になるので、テンプレートとして活用幅が広がります。

### I1 ポリカーボネート: 芳香族

I1-101a PC(m)	ポリカーボネート:ビスフェノール A 型: 溶融法(エステル交換法)	
		
I1-103 PC:BisC	高硬度ポリカーボネート ユーピロン® KH3410:ビスフェノール C 型	
 <div style="float: right; margin-top: 10px;">構造: 反応熱分解 GC 少量のビス A との共重合体。</div>		
I1-105 PC:BisZ	耐熱性ポリカーボネート:ビスフェノール Z 型	
		
I1-202 PC/PMDS	シリコン共重合 ビスフェノール A 型ポリカーボネート	ビス A 型 PC-b-ポリジメチルシロキサン-b-ビス A 型 PC-
		
I1-401 PC/ABS	ポリカーボネート/ABS 樹脂 アロイ	
		
I1-403 PC/PET	ポリカーボネート/ポリエチレンテレフタレート アロイ	
		
I1-404 PC/PTFE	ポリカーボネート/ポリテトラフルオロエチレンブレンド	
